

津市防災だより

平成30年10月1日発行

平成30年第2号

防災室

☎229-3104 FAX 223-6247

防災意識の向上と地域が一丸となれる組織に

津市自主防災協議会芸濃支部会長 落合 公広

芸濃地域は、津市の北西に位置し面積は64.57 km²、河内溪谷を水源とする安濃川が流れ、各所に風光明媚な見どころがあります。

各自治会ではそれぞれに自主防災会を結成し、日頃から資機材や備蓄品の確保、避難訓練などを行っています。

津市自主防災協議会芸濃支部としては、例年、5月に水防訓練を行い、台風などに備え土のう工法等の習得に努めたり、2月には講演会などを開催して研修をしたりしています。

また、昨年9月に開催した芸濃中学校グラウンドでの防災訓練では、芸濃中学校の生徒も含め約

500人が参加し、初期消火・応急手当で・炊き出しなど、消防団と連携して救出救護訓練を実施しました。

今年も新たな取り組みとして、6月17日に土砂災害避難訓練を実施し、55人が参加しました。土砂災害危険箇所の7地区を対象に、防災行政無線を使い土砂災害に係る避難準備・高齢者避難開始の発令を伝え、土砂災害避難施設への避難訓練や防災学習会を行い、防災意識の向上を図りました。

芸濃支部では、今後も災害時における地域の危険箇所を点検しながら、より安全な避難行動への取り組みを進め、いつ起こるか分からない大地震や土砂災害に備え、自分の身を守るための一人一人の防災意識の向上や、地域が一丸となって協力できるよう共助力の強化、そして、心配りができる組織づくりに努めていきたいと考えています。



土砂災害避難訓練の様子

自主防災会の手引きを改訂

平成30年3月に「自主防災会の手引き」を改訂しました。

災害に強い安全・安心な地域社会をつくるためには、日頃から自主防災の意識を持って災害発生時に的確な対応ができるよう研修や訓練を通じて基礎知識を身に付けておくことが大切です。

自主防災会の手引きは、地域防災のリーダーとなる自主防災会長や自治会長をはじめとする役員の方々が、「自分たちのまちは自分たちで守る」の理念の下、防災活動時に活用できるよう作成しています。災害に対する備えと正しい知識の習得にぜひ活用ください。

防災室、各総合支所地域振興課で配布しているほか、津市ホームページからもダウンロードできます。



HP 津市 自主防災会の手引き

検索

地震による電気火災の予防を

東日本大震災の本震による火災111件のうち、原因が特定されたものが108件で、半数を超える58件が揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する電気火災でした。

地震発生時は、電気機器のスイッチを切ってプラグをコンセントから抜き、避難する時はブレーカーを「切」にしましょう。また、普段から使用していない電気機器のプラグは抜いておきましょう。

地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める感震ブレーカーの設置も火災予防に有効です。ぜひ活用ください。

主な感震ブレーカーの種類

